資 料

協議事項

上地区乗合自動車(行け行けぼくらのかみちゃん号) の運賃について

> 秦野市地域公共交通会議運賃協議部会 令和7年10月6日(月)

これまでの経過

かみちゃん号の課題・・・「利用者数の減少」や「収支状況の悪化」

⇒「いつ運行が立ち行かなくなってもおかしくない状況」

見直し案検討のため、利用実態把握を目的としたアンケート調査を実施(令和6年11月)

- →普段利用している方のみでなく、利用していない方の需要についても把握するための調査
- ⇒上地区人口の約42%に当たる828人の方が回答

令和6年度第2回上地区公共交通協議会(令和7年1月29日実施)において、

<u>アンケート結果</u>及び<u>実績</u>等を根拠とし、かみちゃん号の存続にむけた新ダイヤ等を検討していくことを決定

⇒新ダイヤ等を検討するうえでのコンセプトも決定(3頁のとおり)

令和7年度第1回上地区公共交通協議会(令和7年6月19日実施)において、**見直し案について協議**

⇒事務局の見直し案をベースとし、**ダイヤ改正等を実施することに決定**

令和7年度第2回上地区公共交通協議会(書面協議)において、見直し案を決定



令和7年度第2回秦野市地域公共交通協議会において、見直し案(事業計画等の変更)の承認を受ける。

持続可能な公共交通としてあるべき姿

【前提条件】

- ・便数(乗車機会)が多ければ必ず利用者が増える訳ではない。
- ・利用者の増加による収支改善は限定的。
- ・全ての時間帯を網羅するダイヤは続かない。



【公共交通としての役割】

・出来るだけまとまって移動するべきもの

(単に便数を増やしていくものではない。)

・地域全体で乗り支える意識が重要

(可能な限り、生活を公共交通に合わせていく。)

【コンセプト】

『日常生活における移動手段の確保』

- ・上地区には病院やスーパーがない。
- ・高齢化が進んでいる。(今後、免許返納者の増加が想定される。)
- →買い物や通院の移動手段の確保が最優先

見直し案を検討するうえでの前提条件

- ①「買い物」や「通院」における移動手段の確保を最優先にしたダイヤとする。
- <u>※上小学校の児童が通学に利用する主な時間帯のダイヤは継続する。</u>

②運行ルートの大きな変更は実施しない。(渋沢駅までの移動手段を確保する。)

- ・アンケート結果及び利用実績ともに、<u>渋沢駅を目的地とする利用者(利用希望)が</u> 大多数であったため。
- ・アンケート結果において、運行ルートの変更を求める意見は僅かであったため。

③運転手の労働時間を短縮する。

- ・かみちゃん号存続(収支状況改善)のためには、運行経費の削減は必須である。
- ・運転手不足が深刻な状況となっている。

④利用率の低い停留所について統廃合を実施する。

・統廃合を実施することで、効率性の高い運行及び運転手の負担軽減に繋がる。

⑤将来的な車両の定員変更に対応可能なダイヤとする。

- ・<u>令和8年9月頃から、9人定員車両2台のみでの運行が予定されているため。</u> (※現在は、13人定員1台、9人定員1台)
- →運転手不足の影響により、13人定員の車両を運転できる運転手の確保が困難な状況。 (9人定員車両を2台から増やすことも困難。)

見直し案

将来の定員変更を見据えた新ルートの運行

▶概要

運転手不足の影響により、13人定員の車両を運転できる運転手の確保が困難。

- →令和8年9月頃から、9人定員車両2台のみでの運行が予定されている。
 - (※現在は、13人定員1台、9人定員1台)
- ⇒乗りこぼし対策を講じる必要がある。

▶対象便(乗りこぼしの可能性がある便)

第6便:八沢柳川経由(右循環)(7時55分:渋沢駅北口発)※現在、13人定員車両で運行中

・上小学校の児童が通学のため、日常的に渋沢駅から乗車(多い日は10名程度が乗車することもある。)⇒その他の利用者も含めると定員を超過する可能性がある。

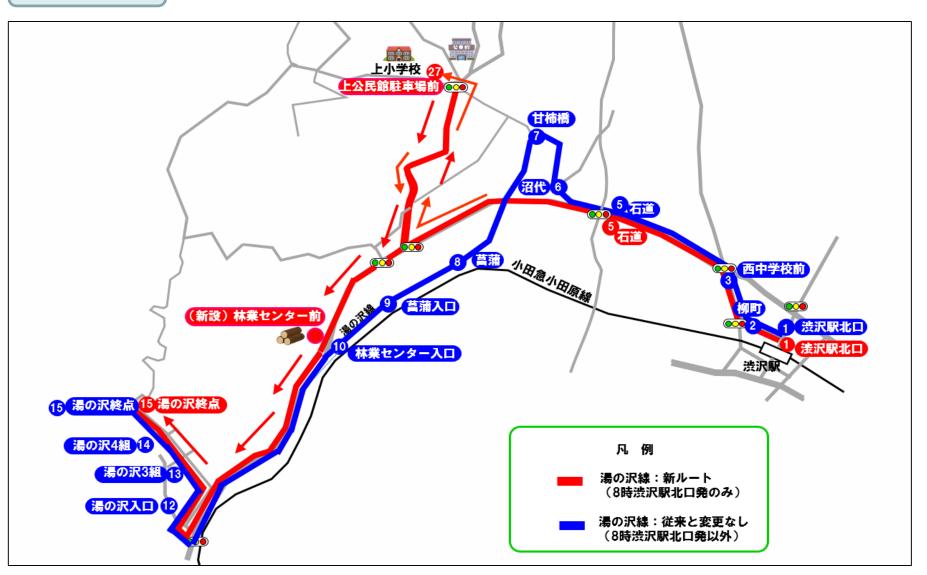
▶対応策

第7便:湯の沢線(8時:渋沢駅北口発)のルート変更 ※現在、9人定員車両で運行中

- ・当便は主に「林業センター」の職員が数名利用している。
- ・「渋沢駅北□」→「石道」→「上公民館駐車場前」→「林業センター前(新設)」
- →「湯の沢終点」のルートとすることで、上小学校の児童も利用することが可能となる。

見直し案

ルート変更図



見直し案

▶運賃について

	渋沢駅北口	渋沢駅北口	渋沢駅北口	渋沢駅北口
	→石道	→上公民館駐車場前	→(新設)林業センター前	→湯の沢終点
湯の沢線	大人:200円	<mark>大人:250円</mark>	大人:250円	大人:300円
(新ルート)	こども:100円	こども:100円	こども:100円	こども:100円
循環線 (従来ルート)	大人:200円 こども:100円	<u>大人:300円</u> こども:100円		
湯の沢線 (従来ルート)	大人:200円 こども:100円		(林業センター入口) 大人:250円 こども:100円	大人:300円 こども:100円

・新ルートについて、基本は、**従来ルートと同一運賃**とするが、

「渋沢駅北口→上公民館駐車場前」間は、直通便という点を考慮し、大人:250円とする。

・新ルート以外の運賃は変更しない。

今後のスケジュール

時期

1	令和7年6月19日(木) @上公民館	令和7年度第1回上地区公共交通協議会において、 見直し案について協議
2	令和7年8月~9月	令和7年度第2回上地区公共交通協議会(書面協議)において、 見直し案を決定
3	令和7年10月6日(月)	秦野市地域公共交通会議及び運賃協議部会において、 見直し案(事業計画等の変更)の承認を受ける。
4	令和7年10月	国へ見直し案に係る申請書類を提出
5	令和7年10月~12月	見直し案について、地域住民等へ周知 ・組回覧、停留所への案内掲示、かみちゃん号車内へ案内掲示等 ・上小学校児童へは、小学校を通じての周知を予定
6	令和8年1月	見直し案での運行開始 ※国の認可手続き等の進捗次第では、運行開始が後ろ倒しになる可能性あり。

内容

(参考資料) 利用実績等

利用実績

年度	日数(日)	湯の沢線			みくるべ線 ※令和5年度10月以降は、 循環線(みくるべ経由)		柳川・八沢線 ※令和5年度10月以降は、 循環線(八沢柳川経由)			合 計			
	(1)	利用者数(人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数(人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数(人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)	利用者数(人)	便数 (便)	1 便 平均 (人/便)
平成27年度	243	12,068	3,888	3.10	7,799	2,187	3.57	4,826	1,701	2.84	24,693	7,776	3.18
令和元年度	240	12,262	3,840	3.19	4,847	2,160	2.24	3,963	1,680	2.36	21,072	7,680	2.74
令和2年度	243	9,195	3,888	2.36	2,800	2,187	1.28	3,122	1,701	1.84	15,117	7,776	1.94
令和3年度	242	10,126	3,872	2.62	4,322	2,178	1.98	2,834	1,694	1.67	17,282	7,776	2.23
令和4年度	243	10,246	3,888	2.64	4,457	2,187	2.04	2,866	1,701	1.68	17,569	7,744	2.26
令和5年度	243	10,059	3,888	2.59	4,771	2,068	2.31	4,787	2,058	2.33	19,617	8,014	2.45
令和6年度 (前年度比)	243	8,796 (-1,263)	3,888	2.26	4,791 (+20)	1,944	2.46	6,492 (+1,705)	2,430	2.33	20,079 (+462)	8,262	2.43

時間帯別利用者数

①湯の沢線 (渋沢駅北口発→湯の沢終点)

令和7年4月~8月 (平均運行日数:20.8日/月)	1カ月平均利用者数 (人/月)	1日平均利用者数
7便(8時発)	83	3.98
12便(10時55分発)	50	2.41
15便(12時25分発)	71	3.40
19便(15時発)	36	1.72
23便(17時10分発)	50	2.40

③循環線:左循環(みくるべ経由)

令和7年4月~8月 (平均運行日数:20.8日/月)	1カ月平均利用者数 (人/月)	1日平均利用者数 (人/便)
10便(9時30分発)	147	3.53
17便(13時10分発)	96	2.31
21便(15時40分発)	111	2.66

②湯の沢線 (湯の沢終点発→渋沢駅北口)

令和7年4月~8月 (平均運行日数:20.8日/月)	1カ月平均利用者数 (人/月)	1日平均利用者数
1便(5時55分発)	48	2.31
2便(6時25分発)	41	1.97
3便(6時55分発)	50	2.38
5便(7時30分発)	51	2.47
8便(8時20分発)	56	2.69
9便(9時発)	86	4.13
11便(10時35分発)	58	2.77
13便(11時20分発)	31	1.51
16便(12時45分発)	32	1.53
20便(15時20分発)	32	1.52
24便(17時30分発)	69	3.32

④循環線:右循環(八沢柳川経由)

令和7年4月~8月 (平均運行日数:20.8日/月)	1カ月平均利用者数 (人/月)	1日平均利用者数
4便(7時10分発)	54	1.30
6便(7時55分発)	199	4.77
14便(11時40分発)	138	3.31
18便(14時発)	82	1.97
22便(16時25分発)	74	1.77

かみちゃん号は、上地区公共交通協議会において、見直し基準(2.4人/便)を設定している。

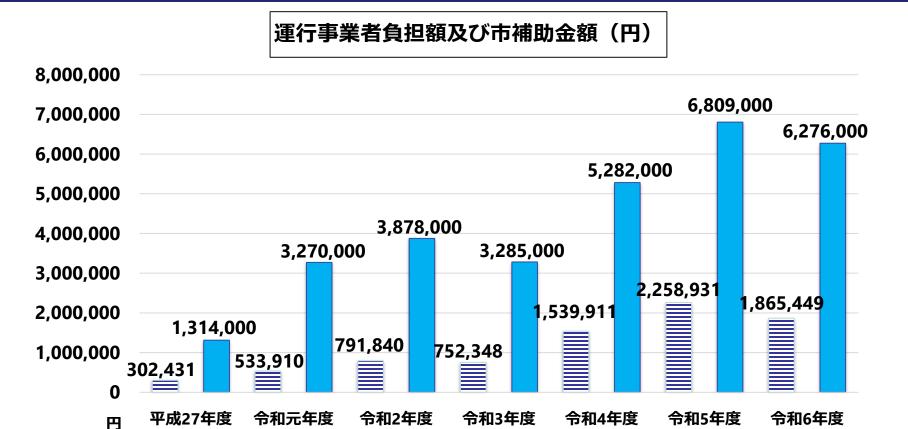
- →基準に達しない場合は、運行計画等の見直しをする必要がある。
- →全24便のうち、11便が基準を下回っている。

収支状況

単位:円

					上地	区乗合自動	車				
		総	収入					事業経費			
	事業収入	事業者					運行経費			その他	計
			負担額		車両費	人件費	燃料費	その他	計	経費	
平成27 年度	9, 028, 000	1, 314, 000	302, 431	10, 644, 431	2, 382, 750	4, 904, 108	1, 286, 056	1, 747, 267	10, 320, 181	324, 250	10, 644, 431
平成28 年度	9, 156, 010	2, 178, 000	485, 379	11, 819, 389	3, 172, 845	5, 359, 733	1, 232, 008	1, 685, 707	11, 450, 293	369, 096	11, 819, 389
平成29 年度	8, 116, 730	3, 538, 000	601, 106	12, 255, 836	3, 714, 832	5, 212, 852	1, 381, 685	1, 639, 964	11, 949, 333	306, 503	12, 255, 836
平成30 年度	8, 652, 110	3, 516, 000	600, 840	12, 768, 950	3, 806, 500	5, 395, 984	1, 568, 232	1, 713, 033	12, 483, 749	285, 201	12, 768, 950
令和元 年度	8, 504, 660	3, 270, 000	533, 910	12, 308, 570	3, 542, 531	5, 244, 597	1, 525, 592	1, 774, 299	12, 087, 019	221, 551	12, 308, 570
令和2 年度	8, 611, 556	3, 878, 000	791, 840	13, 281, 396	3, 579, 259	6, 248, 783	1, 354, 314	1, 783, 030	12, 965, 386	316, 010	13, 281, 396
令和3 年度	9, 584, 425	3, 285, 000	752, 348	13, 621, 773	3, 779, 692	6, 106, 908	1, 678, 809	1, 849, 170	13, 414, 579	207, 194	13, 621, 773
令和4 年度	7, 729, 587	5, 282, 000	1, 539, 911	14, 551, 498	4, 296, 436	6, 309, 299	1, 897, 999	1, 762, 723	14, 266, 457	285, 041	14, 551, 498
令和5 年度	5, 915, 450	6, 809, 000	2, 258, 931	14, 983, 381	4, 414, 890	6, 531, 855	2, 075, 642	1, 731, 354	14, 753, 741	229, 640	14, 983, 381
令和6 年度	6, 978, 210	6, 276, 000	1, 865, 449	15, 119, 659	4, 419, 087	6, 580, 384	2, 166, 298	1, 711, 254	14, 877, 023	242, 636	15, 119, 659

収支状況



令和6年度は、国庫補助金※の増額により、前年度よりも赤字額が減少(約92万円減)した。

■市補助金額

→しかしながら、依然として、赤字額は膨大な状況となっている。

※(参考)国庫補助金額

令和6年度: 2,900千円、令和5年度: 1,905千円、令和4年度: 2,906千円、 令和3年度: 4,712千円、令和2年度: 3,347千円、令和元年度: 3,894千円

二運行事業者負担額

13